

□ 富士見櫓跡

川越城跡は川越市街の北部、武蔵野台地の北端部に位置しており、東と北は入間川に囲まれた湿地帯であることから、自然に侵入を防げる構造である。一方西と南には寺院を配置し、その内側に商業地、武家地を配置することにより、城の備えとしていた。天守を持たない平城であり、代わりに3つの櫓を持っていた。このうち本丸の南側にあった富士見櫓は、3層で16mあまりの高さを持ち、天守の役割を兼ねていたといわれる。

